

食中毒菌検査セットのご案内 ①

有症クレーム時の原因菌調査や、商品出荷前検査での食中毒菌が陰性であることの証明等に幅広くご利用頂けるよう、食中毒事件の原因菌を盛り込んだ食中毒菌検査セットの受託を開始致します。

食中毒菌検査セットA

有症クレーム発生時のスクリーニング検査にお勧め！

項目コード	セット内容	検査方法	最少必要検体量 ^{注1)}	納期
8281	腸管出血性大腸菌 サルモネラ 腸炎ピブリオ カンピロバクター	PCR法	検査部位 として 50g以上	3～8日

食中毒菌検査セットB

鶏肉取扱い施設での商品の出荷前検査にお勧め！

項目コード	セット内容	検査方法	最少必要検体量 ^{注1)}	納期
8112	腸管出血性大腸菌 サルモネラ カンピロバクター	PCR法	検査部位 として 50g以上	3～8日

食中毒菌検査セットC

牛肉取扱い施設での商品の出荷前検査にお勧め！

項目コード	セット内容	検査方法	最少必要検体量 ^{注1)}	納期
8113	腸管出血性大腸菌 サルモネラ	PCR法	検査部位 として 25g以上	3～8日

食中毒菌検査セットD

惣菜（魚介類含む）等の検査にお勧め！

項目コード	セット内容	検査方法	最少必要検体量 ^{注1)}	納期
8276	腸管出血性大腸菌 サルモネラ 腸炎ピブリオ	PCR法	検査部位 として 25g以上	3～8日

注1) 最少必要検体量は1回の検査に必要な最低量であり再検査分を含みません。できるだけ100g程度ご準備下さい。

注2) ご出検の際に上記最少必要検体量に満たない場合、提出された検体量にて検査は実施しますが、「検体少量により参考値」のコメントを報告書へ記載します。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp URL : <http://www.falco-life.co.jp/>

食中毒菌検査セットのご案内 ②

簡易検査フロー

腸管出血性大腸菌・サルモネラ・腸炎ビブリオ
(最少必要検体量：25g)

カンピロバクター
(最少必要検体量：25g)

増菌培養

増菌培養

PCR法による検査を実施

食中毒菌遺伝子 不検出

食中毒菌遺伝子 検出

結果「陰性」

培養法による確認試験

菌 不検出

菌 検出

結果「陰性」

結果「陽性」

ご報告結果の判定基準

病原菌遺伝子が陽性の際は、培養法により確認試験を行います。
検査結果の「陽性」、「陰性」の判定基準については、上記検査フローおよび下記をご参照下さい。
各セット内容の全項目、定性検査となります。

- 1) PCR法にて食中毒菌遺伝子「不検出」の場合、結果は「陰性」でご報告。
- 2) PCR法にて食中毒菌遺伝子「検出」、確認試験（培養試験）「陽性」の場合、結果は「陽性」でご報告。
- 3) PCR法にて食中毒菌遺伝子「検出」、確認試験（培養試験）「陰性」の場合、結果は「陰性」でご報告。

株式会社ファルコバイオシステムズ ライフサイエンス部
〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2
TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477
e-mail : fls.info-als@falco.co.jp URL : <http://www.falco-life.co.jp/>